

ニッポンCSRコンソーシアム

2016年度

『ステークホルダーエンゲージメントプログラム』

→ 業界ごとの重要な人権課題検討会

開会挨拶

経済人コーポラ卓会議日本委員会
松崎 稔

経済人コー円卓会議（Caux Round Table）のご紹介



1986年

当時の通商問題を背景に、元フィリップス社社長（フレデリック・フィリップス氏）と元ヨーロッパ経営大学院副理事長（オリビエ・ジスカールデスタン氏）によって、**スイスのコー（Caux）にて創設**。創設以来、毎年各国のビジネスリーダーが集い、CSRを中心に議論。

1994年

「経済人コー円卓会議 **企業の行動指針**」を策定。ビジネス界によって策定された世界初のCSRに関する指針として、「日本経団連 企業行動憲章」や「国連グローバル・コンパクト10原則」のモデルとなる。

- 日本：共生
- 欧州：人間の尊厳（人権）
- 米国：ステークホルダーエンゲージメント



取組みの背景

- 企業とNPO/NGOが継続的に対話を実施する場が少ない
- 先進企業や、他の企業とのラーニングの場が少ない
- 日本企業の考えや取組み内容を、世界に発信する場が少ない

キッカケは
GRI G4の
パブコメ➡
ルールメイ
キング側へ

取組みの目的

- 企業が、単独ではなくNGOや他の企業とともに人権課題について議論し、これを通じて「企業と人権」の関連性について気づきを高めることを目的とする。

ビジネスと人権に関する指導原則（ラギーフレームワーク）：
「保護・尊重・救済（protect / **respect** / remedy）」の実践の場

2012年度から毎年実施 2016年は5回目

- 昨年は、48社17団体98名の参加。
「業界毎に重要な人権課題」を策定とパブコメ実施。
- 今年は、同時並行でアジアでの同時開催（タイ・バンコクで開催中）

G7 leaders pledge to 'promote safe and sustainable supply chains'

Leaders of the G7 nations including David Cameron and Barack Obama say they have an important role to play in promoting responsible supply chains, following a summit in Germany.



- ▶ Review recommends Care Quality Commission further strengthens procurement processes following errors
- ▶ Subway cookie production comes to Europe to strengthen supply chain
- ▶ Nominees sought to find oil and gas sector's supply chain 'star of the future'
- ▶ Blog: Procurement well placed to tackle challenges of an ageing population

[MORE NEWS »](#)

[MORE BLOGS »](#)



[外務省について](#) | [会見・発表・広報](#) | [外交政策](#) | [国・地域](#) | [海外渡航・滞在](#) |

[申請・手続き](#)

[トップページ](#) > [外交政策](#) > [経済外交](#) > [国際的ルール作りと政策協調の推進](#) > [G7/G8](#) > [首脳会議・外相会議](#) > 2015 G7エルマウ・サミット
首脳宣言 (仮訳)

G7/G8

2015 G7エルマウ・サミット首脳宣言 (仮訳)

平成27年6月8日

[ツイート](#)

[Like](#) 48

[メール](#)

我々G7首脳は、年一回のサミットのため、2015年6月7日及び8日にエルマウで会合を開催した。我々は、共有された価値と理念に導かれ、現代の複雑で国際的な経済的及び政治的諸課題に対処するために緊密に協働することを決意する。我々は、自由及び民主主義の価値、これらの普遍性、法の支配及び人権の尊重、並びに平和及び安全を促進することにコミットしている。特に注

責任あるサプライ・チェーン

安全でなく劣悪な労働条件は重大な社会的・経済的損失につながり、環境上の損害に関連する。グローバル化の過程における我々の重要な役割に鑑み、G7諸国には、世界的なサプライ・チェーンにおいて労働者の権利、一定水準の労働条件及び環境保護を促進する重要な役割がある。我々は、国際的に認識された労働、社会及び環境上の基準、原則及びコミットメント（特に国連、OECD、ILO及び適用可能な環境条約）が世界的なサプライ・チェーンにおいてより良く適用されるために努力する。我々はこの目的のため、例えばG20等の他国と連携する。

マルチステークホルダー が集う場（≠組織体）

CSRコンソーシアム

人権DDWS

CSR課題特定からレポートまでのプロセス

- 各社が実施
- CRTがサポート

個別企業ごとの取組み

STEP
A
企業とNGOとの
対話

STEP
B
業界ごとに重要な
人権課題の特定

パブコメ

STEP
C
企業ごとに既存の
取り組みの整理

STEP
D
企業ごとに
ダイアログの実施

STEP
E
企業ごとに今後の
取組方針の策定

CSR
報告書

エンドースメント（確認）

Collaborative Project

本年度(2016) プログラムの特徴

2015年今後のグローバルな社会に影響を与える大きな目標の設定が登場

- ・ 9月 : 国連総会 持続可能な開発アジェンダ 2030
- ・ 12月 : COP 21 (気候変動枠組み条約第21回締約国会議)
「パリ協定」の採択

今年は

- ・ 5月 : G7伊勢志摩サミットに市民社会からの要望
(市民宣言と多数の要望書)



**JAPAN CIVIL SOCIETY
PLATFORM**
2016 G7 ISE-SHIMA SUMMIT

これまでの ステークホルダー・エンゲージメントプログラム

業界毎に重要な人権課題の特定

バリューチェーンの観点からの深堀り

WEFグローバルリスクとの関連性

業界毎に重要な人権課題の見直し

○ UNEP FI

2012 (8業界)

- 製造業
- 情報・通信業
- 物流業
- アパレル・繊維製品業
- 食品・小売業
- 紙・印刷業
- 金融業
- 化学・製薬業



○

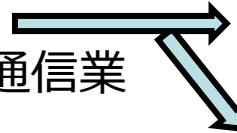
2013 (9業界)

- 製造業
- 情報・通信業
- 物流業
- アパレル・繊維製品業
- 食品・小売業
- 紙・印刷業
- 金融業
- 化学業
- 製薬業

○ WEFレポート

2014 (9業界)

- 製造業
- 情報・通信業
- 物流業
- アパレル・繊維製品業
- 食品・小売業
- 紙・印刷業
- 金融業
- 化学業
- 製薬業



○ UNEP FI(改正版)

2015 (11業界)

- 製造業 (電機・精密・その他)
- 製造業 (インフラ関連)
- 監査・コンサルティング業
- 化学・建築材料業
- 製薬業
- 情報・通信業
- 物流業
- アパレル・繊維製品業
- 食品・小売業
- 紙・印刷業
- 金融業

2015年度 ステークホルダー・エンゲージメントプログラムの課題提起

- 日本が抱えている環境・社会的課題についての提起（11団体）

提起課題

- 1.森林生態系保全
- 2.企業の水リスクと人権
- 3.熱帯林と紙
- 4.子どもの権利とビジネスの関わり
- 5.セクシュアル・マイノリティ
- 6.移住労働者
- 7.消費者課題
- 8.ICT業界と人権課題
- 9.女性活躍推進
- 10.メガスポーツイベントと人権
- 11.責任投資・ESG投資

団体名

- FoE Japan
ウォーターエイドジャパン
熱帯林行動ネットワーク（JATAN）
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
レインボー・アクション
移住者と連帯する全国ネットワーク
サステナビリティ消費者会議
（株）国際社会経済研究所
Gender Action Platform
アムネスティ・インターナショナル日本
社会的責任投資フォーラム

赤文字は新規の問題提起

ステークホルダーエメントプログラムからの気づき

- 企業視点とステークホルダー視点の双方（コインの両面）を有することにより、人権概念が広がる
- 企業とNGO/NPOは、敵対する関係ではなく、利害を共有することのできるパートナーである（NGOの目標は企業を攻撃することではなく、問題を解決すること。問題解決のパートナーとして企業を巻き込みたいと考えている）
- 自社とは異なる業界における人権課題を知ることは、自社のバリューチェーンやサプライチェーン上の人権課題への理解を深める上で有効である
- 情報を世界に発信することで、世界から情報が集まってくる
- 責任あるサプライチェーン実現へ向けてのNGO/NPO等と企業の理解と実践の場。協働への足掛かり。

今後のスケジュール(会場は2か所)

- ・ **第2回 2016年6月22日(水) 14:00-17:30**
場所：**AP東京丸の内** (日本生命丸の内ガーデンタワー)
内容：ワークショップ① ゲスト：IGES 宮澤 郁穂様
- ・ **第3回 2016年7月01日(金) 14:00-17:30**
場所：**AP東京丸の内** (日本生命丸の内ガーデンタワー)
内容：ワークショップ② ゲスト：動く・動かす 稲葉 雅紀様
- ・ **第4回 2016年7月06日(水) 14:00-17:00**
場所：**関西学院大学東京丸の内キャンパス**
内容：ワークショップ③
- ・ **第5回 2016年7月19日(火) 13:00-18:00**
場所：**AP東京丸の内**
内容：NGO/NPOへのフィードバック
- ・ **第6回 2016年7月27日(水) 13:00-17:00**
場所：**関西学院大学東京丸の内キャンパス**
内容：最終案策定
⇒ **パブコメ(世界への発信) 8月~9月**
⇒ **最終報告書 2016年11月**

CAUX ROUND TABLE